

事業計画の特徴

- **地域エネルギー会社（東北おひさま発電等）と連携**し、市の堆肥化施設内に**食品残渣を活用したバイオガス発電設備を設置**するとともに、**余剰エネルギーを園芸施設で活用**し、「高収益作物（野菜等）」の実証栽培に取り組む。また、当該設備で発生した**バイオ液肥**を水田で利用し、地場産米として「ブランド化」し、**学校給食で提供することで、食育を推進**する。
- その際、**福祉支援施設利用者等を園芸施設で雇用**することで、生きがいづくりも図る。（**ノフク×スマート農業**）
- **地域エネルギー会社（おきたま新電力等）と連携**し、公共施設オンサイトPPAの余剰電力を他の公共施設にオフサイト利用することにより、再エネ電力を余すことなく活用し、事業効率性の向上とコスト低減を図る。特に、**市の給食共同調理場を再エネ100%とし**、合わせて運搬時のCO2もカーボン・オフセットを行い、「**RE100給食**」を目指し提供する。

事業計画の概要（民間） 再エネ：1,400kW

取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	・ 200件 ・ 1,000kW
蓄電池の導入	・ 100件 ・ 700kWh
バイオマス熱利用設備の導入	・ 90件

取組（事業者）	規模
太陽光発電設備の導入	・ 12件 ・ 400kW
バイオマス熱利用設備の導入	・ 10件
高効率空調機器の導入	・ 10件
高効率照明機器の導入	・ 15件

事業計画の概要（公共） 再エネ：1,145kW

取組	規模
市有地への太陽光発電設備の導入（PPA等）	・ 2件 ・ 1,120kW
バイオガス発電設備の導入	・ 1件 ・ 25kW

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
2,545kW	31,547 t-CO2	16.4億円	7.1億円	令和6年度 ～ 令和11年度

取組のイメージ

